Systemwalker Service Quality Coordinator V15.1.1 管理対象

○：対応
－：非対応

管理対象		概要	対応製品等	Windows	Solaris	Linux	エディション
サービスレベル管理	OS	各プラットフォーム（Windows, Solaris, Linux）のOS/カーネルの性能を管理します。 インストール型またはインストールレス型のAgentで情報を収集します。 インストールレス型Agentでは、AIXおよびHP-UXのOS/カーネルの性能も管理できます。	各Agentの動作OS	動作環境で各OSの詳細の以下を参照してください。 ・Agent for Business ・Agent for Server ・インストールレス型Agent AIXおよびHP-UXの場合は以下のとおりです(インストールレス型Agentのみ)。 ・AIX 5L 5.2, 5L 5.3, 6.1, 7.1 ・HP-UX 11i V2（11.23）, 11i V3			
	仮想環境	仮想ホストのリソースの情報を管理します。	VMware (注9)	ESX 3.5, 4.0, 4.1 ESXi 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter Server Appliance 6.5, 6.7			
			Hyper-V (注9) (注10)	Windows 2008（Hyper-V 1.0） Windows 2008 R2（Hyper-V 2.0） Windows 2012（Hyper-V 3.0） Windows 2012 R2 （Hyper-V 3.1）			
			Linux仮想マシン機能（KVM）（注9）	Red Hat Enterprise Linux 6（6.2以降） Red Hat Enterprise Linux 7			
			Linux仮想マシン機能（Xen）（注9）	Red Hat Enterprise Linux 5			
			Oracle Solarisゾーン (注9) (注11)	Oracle Solaris 11			
			Oracle VM Server for SPARC (注9)	3.0, 3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5			
	サービス	各種サービス（HTTP/S, DNS, SMTP, 任意ポート）の稼働状態を管理します。	－	○			
	エンドユーザーレスポンス	エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、実感した応答時間を管理します。 Browser Agentで情報を収集します。	－	動作環境でWindows 詳細の以下を参照してください。 ・Browser Agent			
	Webサーバ	Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間といった、Webトランザクション量を管理します。	－	Apache Web Server、MS Internet Information Services、Netscape Enterprise Server、Interstage Application Server（WWWサーバ機能）や、W3C httpdなど、W3C Commonログ形式を扱うWeb Server			
	アプリケーションサーバ	処理時間、待ち時間、ヒープ量、レスポンス内訳分析など、業務システムの性能を管理します。	Interstage Application Server (注1) (注2) (注3) (注4)	V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE S-JE EE Plus
			Interstage Business Application Server (注5)	－	V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE EE
			Interstage Application Framework Suite	－	7.0	－	EE
			Primesoft Server	－	－	V1.1	EE
			Oracle WebLogic Server (注6) (注7)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	SE EE WebLogic Suite
			Microsoft .NET Server	2003 2008 2012	－	－	
			SAP NetWeaver	7.0	7.0	7.0	
	データベースサーバ	IO、メモリ、キャッシュ、スペース、デッドロック、SQL回数など、データベース性能を管理します。	Symfoware Server	V4.x V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0 V12.1 V12.2	4.x 5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0 V12.1 V12.2	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0 V12.1 V12.2	SE EE EEE
			Symfoware Analytics Server (注8)	V12.0	－	V12.0	SE
			Oracle Database Server	9i 10g 11g 12c	9i 10g 11g 12c	9i 10g 11g 12c	SE EE
			Microsoft SQL Server	2000 2005 2008	－	－	Workgroup Standard Enterprise
				2012 2014 2016(注14)	－	－	Standard Business Intelligence Enterprise

			PostgreSQL	9.2 9.3	9.2 9.3	9.2 9.3	
	サービスバス	Interstage Service Integratorで構築されたシステムの業務処理量や滞留数などを監視（しきい値監視）し、各業務の稼働状態を把握することができます。	Interstage Service Integrator	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5 V9.6	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5 V9.6	SE EE
	ジョブ	多重度や実行待ち数など、ジョブ実行性能を管理します。下記のジョブ管理製品をサポートします。	Systemwalker Operation Manager (注12)	V11.x V12.x V13.x V16.0	V11.x V12.x V13.x V16.0	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7 V13.8	SE EE
	ネットワーク	トラフィック量、パケット数、エラー数など、ネットワーク性能を管理します。	Systemwalker Centric Manager (注13)	V10.x V11.x V12.x V13.x V15.0 V15.1	10.x 11.x 12.x V13.x V15.0 V15.1	V11.x V12.x V13.x V15.0 V15.1	SE EE
			Systemwalker Network Manager	–	12.x V13.0 V13.3	V12.x V13.0 V13.3 V13.4	
			Systemwalker Resource Coordinator	V13.x	12.x V13.x	V12.x V13.x	
	ストレージ	IO、スループット、レスポンス、キャッシュなど、ストレージ性能を管理します。 注) 以下はサポート対象外です。 - Extreme Chache - VMware vSphere Virtual Volumes機能 - ETERNUS VS850以降のストレージ仮想化アプライアンス	ETERNUS SF Storage Cruiser	13.x 14.x 15.x 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6 16.7	13.x 14.x 15.x 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6 16.7	13.x 14.x 15.x 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6 16.7	
	リソース管理	仮想化／クラウド環境において、ServerView Resource OrchestratorのテナントおよびL-Platformを構成するL-Serverの性能情報を、ServerView Resource Orchestratorのユーザーのロールに応じて管理することができます。	ServerView Resource Orchestrator	V3.1	–	V3.1	Cloud Edition
	エコ情報	一般的に利用されているSNMPのMIBインターフェースを使って電力や温度の情報を提供しているサーバ等について、電力情報、温度情報など、エコ情報を管理します。	–	○			
	ユーザーデータ	業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ（CSV形式）を管理します。	–	○			
Web利用状況管理	利用状況分析	Webサイトの利用状況をさまざまな観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。	–	○			
	改ざん監視	Web能コンテンツを定期的に検査し、改ざんを検出する機を提供します。	–	○			

注1) Interstage Application Serverのマルチシステム機能は未サポートです。
注2) Interstage Application ServerでのJava EE環境の性能監視は、Interstage Application Server V10.0以降でサポートします。また、Interstage Application ServerのJava EE 6機能とは連携できません。
注3) Java EE環境におけるInterstage Application Serverのトランザクション内訳分析は、Interstage Application Server V11.0以降でサポートします。
注4) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。

注5) オープンJavaフレームワークに関する性能情報は、Interstage Business Application Server V9.2以降（Solaris版）にて、J2EE環境の場合のみ収集可能です。
注6) Oracle WebLogic Serverの動作するJavaVMとして、Windows版またはLinux版の場合はJRockit JVM、Solaris版の場合はHotSpot JVMを使用する場合のみサポートします。
注7) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。

注8) Symfoware Analytics Serverを管理する場合は、本製品の各マニュアルの、Symfoware ServerのOpenインターフェースについての説明を参照してください。
注9) VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能（Xen）、Linux仮想マシン機能（KVM）、Solaris ゾーン、Oracle VM Server for SPARCで管理できる仮想ゲストの数は、物理サーバと合わせて1つのManagerで合計300台程度までです（Managerの物理ディスクを、サマリデータ、リソースデータ、およびアーカイブファイルで3つに分ける場合。導入手引書「PDB/アーカイブファイル格納先の変更」参照）。
注10) 仮想環境のメモリ情報を収集するためには、Windows Server 2008 R2 Service Pack1以降で追加されたDynamic Memory機能が必要です。
注11) Solaris 11.2以降のKernel Zonesについても管理できます。
注12) Windows版およびSolaris版Systemwalker Operation Manager V16.0を管理する場合、以下の修正を適用してください。
Windows32：T011654WP-08以降
Windows64：T011662XP-08以降
Solaris：T011650SP-08以降
注13) 64ビット版のWindows上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。

注14) 緊急修正(T011662XP-10以降)の適用が必要です。

Systemwalker Service Quality Coordinator V15.1.0 管理対象

○：対応
－：非対応

管理対象		概要	対応製品等	Windows	Solaris	Linux	エディション
サービスレベル管理	OS	各プラットフォーム（Windows, Solaris, Linux）のOS/カーネルの性能を管理します。 インストール型またはインストールレス型のAgentで情報を収集します。 インストールレス型Agentでは、AIXおよびHP-UXのOS/カーネルの性能も管理できます。	各Agentの動作OS	動作環境で各OSの詳細の以下を参照してください。 ・Agent for Business ・Agent for Server ・インストールレス型Agent AIXおよびHP-UXの場合は以下のとおりです(インストールレス型Agentのみ)。 ・AIX 5L 5.2, 5L 5.3, 6.1, 7.1 ・HP-UX 11i V2（11.23）, 11i V3			
	仮想環境	仮想ホストのリソースの情報を管理します。	VMware (注8)	ESX 3.5, 4.0, 4.1 ESXi 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7			
			Hyper-V (注8) (注9)	Windows 2008（Hyper-V 1.0） Windows 2008 R2（Hyper-V 2.0） Windows 2012（Hyper-V 3.0） Windows 2012 R2 （Hyper-V 3.1）			
			Linux仮想マシン機能（KVM）（注8）	Red Hat Enterprise Linux 6（6.2以降）			
			Linux仮想マシン機能（Xen）（注8）	Red Hat Enterprise Linux 5			
			Oracle Solarisゾーン (注8)	Oracle Solaris 11			
	サービス	各種サービス（HTTP/S, DNS, SMTP, 任意ポート）の稼働状態を管理します。	－	○			
	エンドユーザレスポンス	エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、実感した応答時間を管理します。 Browser Agentで情報を収集します。	－	動作環境でWindows 詳細の以下を参照してください。 ・Browser Agent			
	Webサーバ	Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間といった、Webトランザクション量を管理します。	－	Apache Web Server、MS Internet Information Services、Netscape Enterprise Server、Interstage Application Server（WWWサーバ機能）や、W3C httpdなど、W3C Commonログ形式を扱うWeb Server			
	アプリケーションサーバ	処理時間、待ち時間、ヒープ量、レスポンス内訳分析など、業務システムの性能を管理します。	Interstage Application Server (注1) (注2) (注3) (注4)	V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE S-JE EE Plus
			Interstage Business Application Server (注5)	－	V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE EE
			Interstage Application Framework Suite	－	7.0	－	EE
			Primesoft Server	－	－	V1.1	EE
			Oracle WebLogic Server (注6) (注7)	11gR1 （10.3.5） 12c （12.1.1）	11gR1 （10.3.5） 12c （12.1.1）	11gR1 （10.3.5） 12c （12.1.1）	SE EE WebLogic Suite
			Microsoft .NET Server	2003 2008 2012	－	－	
			SAP NetWeaver	7.0	7.0	7.0	
	データベースサーバ	IO、メモリ、キャッシュ、スペース、デッドロック、SQL回数など、データベース性能を管理します。	Symfoware Server	V4.x V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0	4.x 5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0	SE EE EEE
			Symfoware Analytics Server	V12.0	－	V12.0	SE
			Oracle Database Server	9i 10g 11g 12c	9i 10g 11g 12c	9i 10g 11g 12c	SE EE
			Microsoft SQL Server	2000 2005 2008	－	－	Workgroup Standard Enterprise
				2012	－	－	Standard Business Intelligence Enterprise
			PostgreSQL	9.2	9.2	9.2	

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED

	サービスバス	Interstage Service Integratorで構築されたシステムの業務処理量や滞留数などを監視（しきい値監視）し、各業務の稼働状態を把握することができます。	Interstage Service Integrator	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5	SE EE
	ジョブ	多重度や実行待ち数など、ジョブ実行性能を管理します。下記のジョブ管理製品をサポートします。	Systemwalker Operation Manager	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	SE EE
	ネットワーク	トラフィック量、パケット数、エラー数など、ネットワーク性能を管理します。	Systemwalker Centric Manager (注10)	V10.x V11.x V12.x V13.x V15.0	10.x 11.x 12.x V13.x V15.0	V11.x V12.x V13.x V15.0	SE EE
			Systemwalker Network Manager	–	12.x V13.0 V13.3	V12.x V13.0 V13.3 V13.4	
			Systemwalker Resource Coordinator	V13.x	12.x V13.x	V12.x V13.x	
	ストレージ	IO、スループット、レスポンス、キャッシュなど、ストレージ性能を管理します。	ETERNUS SF Storage Cruiser	13.x 14.x 15.x 16.0	13.x 14.x 15.x 16.0	13.x 14.x 15.x 16.0	
	リソース管理	仮想化／クラウド環境において、ServerView Resource Orchestratorのテナントおよび L-Platformを構成するL-Serverの性能情報を、ServerView Resource Orchestratorのユーザーのロールに応じて管理することができます。	ServerView Resource Orchestrator	V3.1	–	V3.1	Cloud Edition
	エコ情報	一般的に利用されているSNMPのMIBインターフェースを使って電力や温度の情報を提供しているサーバ等について、電力情報、温度情報など、エコ情報を管理します。	–	○			
	ユーザーデータ	業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ（CSV形式）を管理します。	–	○			
Web利用状況管理	利用状況分析	Webサイトの利用状況をさまざまな観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。	–	○			
	改ざん監視	Web能コンテンツを定期的に検査し、改ざんを検出する機を提供します。	–	○			

注1) Interstage Application Serverのマルチシステム機能は未サポートです。
注2) Interstage Application ServerでのJava EE環境の性能監視は、Interstage Application Server V10.0以降でサポートします。また、Interstage Application ServerのJava EE 6機能とは連携できません。
注3) Java EE環境におけるInterstage Application Serverのトランザクション内訳分析は、Interstage Application Server V11.0以降でサポートします。
注4) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。

注5) オープンJavaフレームワークに関する性能情報は、Interstage Business Application Server V9.2以降（Solaris版）にて、J2EE環境の場合のみ収集可能です。
注6) JavaVMとしてJRockitを使用する場合のみサポートします。
注7) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。

注8) VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能（Xen）、Linux仮想マシン機能（KVM）、Solaris ゾーンで管理できる仮想ゲストの数は、物理サーバと合わせて1つのManagerで合計300台程度までです（Managerの物理ディスクを、サマリデータ、リソースデータ、およびアーカイブファイルで3つに分ける場合。導入手引書「PDB/アーカイブファイル格納先の変更」参照）。
注9) 仮想環境のメモリ情報を収集するためには、Windows Server 2008 R2 Service Pack1以降で追加されたDynamic Memory機能が必要です。
注10) 64ビット版のWindows上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED

Systemwalker Service Quality Coordinator V15.0.1 管理対象

○：対応
－：非対応

管理対象		概要	対応製品等	Windows	Solaris	Linux	エディション
サービスレベル管理	OS	各プラットフォーム（Windows, Solaris, Linux）のOS/カーネルの性能を管理します。 インストール型またはインストールレス型のAgentで情報を収集します。 インストールレス型Agentでは、AIXおよびHP-UXのOS/カーネルの性能も管理できます。	各Agentの動作OS	動作環境で各OSの詳細の以下を参照してください。 ・Agent for Business ・Agent for Server ・インストールレス型Agent AIXおよびHP-UXの場合は以下のとおりです(インストールレス型Agentのみ)。 ・AIX 5L 5.2, 5L 5.3, 6.1, 7.1 ・HP-UX 11i V2（11.23）, 11i V3			
	仮想環境	仮想ホストのリソースの情報を管理します。	VMware (注8)	ESX 3.5, 4.0, 4.1 ESXi 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7			
			Hyper-V (注8) (注9)	Windows 2008（Hyper-V v1） Windows 2008 R2（Hyper-V v2） Windows 2012（Hyper-V v3）（注10）			
			Linux仮想マシン機能（KVM）（注8）	Red Hat Enterprise Linux 6（6.2以降）			
			Linux仮想マシン機能（Xen）（注8）	Red Hat Enterprise Linux 5			
			Oracle Solarisゾーン (注8)	Oracle Solaris 11			
	サービス	各種サービス（HTTP/S, DNS, SMTP, 任意ポート）の稼働状態を管理します。	－	○			
	エンドユーザレスポンス	エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、実感した応答時間を管理します。 Browser Agentで情報を収集します。	－	動作環境でWindows 詳細の以下を参照してください。 ・Browser Agent			
	Webサーバ	Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間といった、Webトランザクション量を管理します。	－	Apache Web Server、MS Internet Information Services、Netscape Enterprise Server、Interstage Application Server（WWWサーバ機能）や、W3C httpdなど、W3C Commonログ形式を扱うWeb Server			
	アプリケーションサーバ	処理時間、待ち時間、ヒープ量、レスポンス内訳分析など、業務システムの性能を管理します。	Interstage Application Server (注1) (注2) (注3) (注4)	V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE S-JE EE Plus
			Interstage Business Application Server (注5)	－	V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE EE
			Interstage Application Framework Suite	－	7.0	－	EE
			Primesoft Server	－	－	V1.1	EE
			Oracle WebLogic Server (注6) (注7)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	11gR1 (10.3.5) 12c (12.1.1)	SE EE WebLogic Suite
			Microsoft .NET Server	2003 2008	－	－	
			SAP NetWeaver	7.0	7.0	7.0	
	データベースサーバ	IO、メモリ、キャッシュ、スペース、デッドロック、SQL回数など、データベース性能を管理します。	Symfoware Server	V4.x V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	4.x 5.x 6.x 7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.0 V11.1	SE EE EEE
			Oracle Database Server	9i 10g 11g	9i 10g 11g	9i 10g 11g	SE EE
			Microsoft SQL Server	2000 2005 2008	－	－	Workgroup Standard Enterprise
				2012	－	－	Standard Business Intelligence Enterprise

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED

	サービスバス	Interstage Service Integratorで構築されたシステムの業務処理量や滞留数などを監視（しきい値監視）し、各業務の稼働状態を把握することができます。	Interstage Service Integrator	v9.0 v9.1 v9.2 v9.3 v9.4	v9.0 v9.1 v9.2 v9.3 v9.4	v9.0 v9.1 v9.2 v9.3 v9.4	SE EE
	ジョブ	多重度や実行待ち数など、ジョブ実行性能を管理します。下記のジョブ管理製品をサポートします。	Systemwalker Operation Manager	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	11.x 12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	V11.x V12.x V13.0 V13.1 V13.2 V13.3 V13.4 V13.6 V13.7	SE EE
	ネットワーク	トラフィック量、パケット数、エラー数など、ネットワーク性能を管理します。	Systemwalker Centric Manager (注11)	V10.x V11.x V12.x V13.x V15.0	10.x 11.x 12.x V13.x V15.0	V11.x V12.x V13.x V15.0	SE EE
			Systemwalker Network Manager	–	12.x V13.0 V13.3	V12.x V13.0 V13.3 V13.4	
			Systemwalker Resource Coordinator	V13.x	12.x V13.x	V12.x V13.x	
	ストレージ	IO、スループット、レスポンス、キャッシュなど、ストレージ性能を管理します。	ETERNUS SF Storage Cruiser	13.x 14.x 15.x 16.0	13.x 14.x 15.x 16.0	13.x 14.x 15.x 16.0	
	リソース管理	仮想化／クラウド環境において、ServerView Resource Orchestratorのテナントおよび L-Platformを構成するL-Serverの性能情報を、ServerView Resource Orchestratorのユーザーのロールに応じて管理することができます。	ServerView Resource Orchestrator	V3.1	–	V3.1	Cloud Edition
	エコ情報	一般的に利用されているSNMPのMIBインターフェースを使って電力や温度の情報を提供しているサーバ等について、電力情報、温度情報など、エコ情報を管理します。	–	○			
	ユーザーデータ	業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ（CSV形式）を管理します。	–	○			
Web利用状況管理	利用状況分析	Webサイトの利用状況をさまざまな観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。	–	○			
	改ざん監視	Webコンテンツを定期的に検査し、改ざんを検出する機能を提供します。	–	○			

注1) Interstage Application Serverのマルチシステム機能は未サポートです。
注2) Interstage Application ServerでのJava EE環境の性能監視は、Interstage Application Server V10.0以降でサポートします。
注3) Java EE環境におけるInterstage Application Serverのトランザクション内訳分析は、Interstage Application Server V11.0以降でサポートします。
注4) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。

注5) オープンJavaフレームワークに関する性能情報は、Interstage Business Application Server V9.2以降（Solaris版）にて、J2EE環境の場合のみ収集可能です。
注6) JavaVMとしてJRockitを使用する場合のみサポートします。
注7) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。

注8) VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能（Xen）、Linux仮想マシン機能（KVM）、Solarisコンテナで管理できる仮想ゲストの数は、合計300台程度までです。
注9) 仮想環境のメモリ情報を収集するためには、Windows Server 2008 R2 Service Pack1 以降で追加されたDynamic Memory機能が必要です。
注10) Windows 2012（Hyper-V v3）についてはインストール型Agentによる収集のみサポートします。
注11) 64ビット版のWindows上でのサポート範囲は以下のとおりです。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
  32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
  64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED